



ようやく実現した修学旅行



4月の年度初めには、6年生が平和学習で学んだことを実際に見たり体験したりするため、広島への修学旅行を10月中旬に計画していました。しかし、夏休みが明けた9月9日には、コロナ禍は収束するどころか兵庫県に発令されていた「緊急事態宣言」が9月30日まで延長されることとなりました。そして9月末を迎える頃になっても、再度の延長の可能性が高かったため、6年生の担任はやむを得ず再度修学旅行を計画しなりました。

コロナ禍も少しは落ちつくだろうとの希望的観測のもと、3学期が始まった1月19～20日に実施を計画しました。しかし万一の場合を考えて、行き先を実施できる可能性の高い県内(姫路)に変更して調整しました。児童数が多い本校児童の宿舎を、できるだけ密を避ける条件で、これまでの学習内容をいかに探るのは至難の業でした。

6年生は平和学習を進めつつ、冬休みを迎えましたが、年末年始の休みを終えて1月に入ると、まるでみんなの夢を絶つかのように、徐々に「オミクロン株」は拡大しはじめました。6年生担任だけでなく本校の全職員が、昨年度自然学校を体験できていない6年生児童に、何とか修学旅行を…との強い願いを持っていました。

そんなみんなの願いが叶い、保護者の皆様のご理解とご協力のもと、予定通り修学旅行を決行することができました。6年生が帰校した翌週から、日本中一気にコロナ拡大の勢いは強まり、現在では兵庫県も再び過去最多となる新規感染者が出て、まん延防止等重点措置が発令されています。

本当に薄氷の思いでしたが、引率した教員全員が、24時間常に気をはりつつも、修学旅行を子どもたちの楽しい思い出にしようと、徹底した消毒、分散した行動、密を回避するための時間差…等を懸命に行っていました。また、ホテルも全館を貸し切れたおかげで、広い部屋をいくつも使用させてもらえました。ホテルの皆さんの協力もとても大きかったと思います。

そして何よりも、実際に修学旅行に行った6年生自身が、常に消毒・換気・黙食・ソーシャルディスタンスなどルールを守り、とても立派に行動してくれました。お互いが律しつつ、自分たちの思い出を自分たちの力で創り上げていました。

今号では、修学旅行の様子を写真でお伝えいたします。



←姫路城

↓ 平和資料館



↓ 平和を誓うセレモニー



水族館

ホテルの夕食→



瓦製造所でのクラフト



姫路セントラルパーク
サファリ と アトラクション



本当に楽しく有意義な修学旅行となりました。
これ以外の写真は、正面玄関(おもいで広場)のディスプレイで放映します。

現在は「まん延防止等重点措置」が発令され、校内に入っただけのため、当面の間「修学旅行」特集として続ける予定です。



